



市長日記

安来節の新体験

2月27日、安来節演芸館の『バーチャル上映試写会』でどじょうすくい踊りなどを鑑賞しました。

踊りの映像を前後に設置するスクリーンに投影することで、立体感を演出しています。安来節公演のない平日でも来館者に楽しんでもらえる、新たなプログラムが誕生しました。



◀映像と思えないほどの舞台に、思わず見入ってしまいました。



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



紹介します
出来事を
まちな話
とびくす

たうんとびくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



市内各地の認定こども園や幼稚園などで、節分の豆まき会が開かれました。サプライズで鬼が登場すると、子どもたちは大慌て。必死に豆を投げて鬼を追い払うと、子どもたちは「もう〇〇はしません」とそれぞれに目標を立て、鬼との約束を結びました。

2月3日：島田こども園



段ボールをかぶる？

▲安来商工会議所が主催する安来まちゼミ。市内の事業者からプロの技を学びます。

2月15日、カフェ「サムライの昼寝」で安来まちゼミ「段ボールでかぶり物を作ろう！」を開催。

安来So-Zo舎の中野滋さんから段ボールアートを学び、幅3cmのダンボールを自由に組み合わせ、ウサギや恐竜、王冠などのかぶり物を作りました。作っていくうちに新しいアイデアが次々と浮かび、王冠には宝石を、うさぎにはひげをつけるなど、大人も子どもも想像力豊かに取り組みました。

参加者は「段ボールをグルーガンでつけるのは難しかったけど、楽しくできた」と話しました。

2月14日、さんそ学習館ケイオスで、安来まちゼミ「科学実験とチョコフォンデュ作り」が開催されました。

山陰酸素工業安来支店のみなさんが講師となり、参加者は液体窒素を使ったチョコ作りと科学実験に挑戦。普段は固まるのに時間のかかるチョコレートも、科学の力で一瞬で凍らせることができました。

子どもたちは、カチカチに凍ったチョコフォンデュを美味しく頬張り、普段とはひと味違うバレンタインを過ごしました。



バレンタイン×科学

▲マイナス196度の液体窒素。周囲の空気を急激に冷やすため、たくさんの白い煙が広がります。



親子で楽器作り

▲この日の最年少は生後10カ月。楽しく遊べました。

2月10日、健康福祉センターで子育て支援センターが主催するイベント「手作り楽器でミニコンサートを楽しもう！」が開催されました。

参加した親子は、シールやリボンを使ってオリジナルのマラカスやワニ型カスタネットを作り、その後は歌遊びやパネルシアターを楽しみました。

子育て支援センターでは、児童家庭相談窓口の設置や自由に遊べるプレイルームを開放。毎月親子で楽しめるイベントを通じて、子どもたちが心も体も元気に成長できるようサポートを行っています。

2月5日、やすぎ図書館で第3回まなべ〜る講座「消費者トラブル事例と対策」が開催され、トラブルに巻き込まれないための断り方を学びました。

講師の原亜紀子さん（安来市消費生活相談員）は、「インターネット通販での定期購入トラブル」や「地震発生後の屋根修理での訪問詐欺」など、市内で実際に相談が寄せられた事例を紹介しました。

参加者は「断ることに理由はいらない」「その場で契約しない」「家族や周囲に相談する」など、多様化するトラブルへの対策を改めて確認しました。



断る勇気と相談が大切

▲「私は詐欺にあわない」と思っている人への注意喚起を参加者で考えました。

2月1日、安来節演芸館で新春公演「神話の源流出雲神楽」が開催されました。雲南市の無形民俗文化財に指定されている「薦沢神楽社中」が出演し、出雲神話にまつわる「国議」と「簸の川大蛇退治」の2演目を披露しました。

出雲神楽ならではの伝統的なお囃子と、優雅さの中にも迫力ある舞で、観客を神秘的な神話の世界へと引き込みました。来場者からは「安来では神楽を見る機会が少ないので、今回見ることができて嬉しい」といった喜びの声が聞かれました。



演芸館で神話の世界へ

▲「簸の川大蛇退治」のひとつコマ。大蛇の不気味で迫力のある動きに、会場は釘付けになりました。



大人気で長蛇の列に

▲野菜もお菓子も好評で、個数制限を設けて販売したのもありました。

2月14日、プラーナで松江養護学校安来分教室の生徒による販売会が行われました。

販売した商品は、生徒が自ら育て加工した野菜やジャム、焼き菓子などで、陳列から接客、会計までの全行程を生徒たちが担当しました。生徒会長の岩田和輝さんは「丁寧に収穫や袋詰めを行い、商品を傷つけないように注意しました。完売を目指します」と意気込みを語ってくれました。

販売会は生徒が働く喜びや達成感を感じ、社会性や人との関わりを学ぶ貴重な機会となっています。